

きぼう

1996年(平成8年)1月

第3号

この子等の幸せを考える親の会

事務局

〒494 尾西市富田字漆畑16番地

TEL/FAX: 0586-61-6055

編集責任者: 広報・研修事業部

年頭のあいさつ

この子等の幸せを考える親の会

会長 小塚 清

新年明けましておめでとうございます

会員の皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、会員の皆様方の格別のご協力により会の組織が飛躍的に改善され、強固な団結力を持つ親の会となりました。

本年は、この団結力をもって永年の念願であります障害を持った人達が安心して生活の出来る場所を作る為に、会員の皆様方の一層のご協力を賜る様お願いし、年頭のあいさつと致します。



明けましておめでとうございます

リクレーション事業部

昨年4月から、新しい組織でスタートした親の会の活動も、事務局の協力を得て無事に新年を迎えることができましたこと、会員の皆様にお礼を申し上げます。

振り返ってみれば、第1回目の仕事として親子遠足で、畜産センター見学を行いました。あいにくの雨と帰りのバスの故障があり、又、秋の運動会の日延べと色々ありました。皆様には大変ご迷惑をかけるスタートとなりましたが、皆様のご協力のおかげをもちまして、なんとか楽しい実りのあるものにすることができました。続いて、12月のもちつき大会は、豊田合成の皆さんの協力を得て楽しいゲームもあり、大変盛り上がりました。

新しい事業部制での活動ということで、会員の皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしました。役員、また事業部会員の皆様と各事業を振り返って、反省点などを話し合い、より充実した、中身のある楽しい活動をして参りたいと思っていますので、本年もよろしくご協力をお願いして、新年のあいさつとさせていただきます。 (堀江)



H7年11月21日。リクレーション事業部開催
料理教室『簡単にできる夕ごはんのおかず』の光景

新年明けまして

おめでとうございます

広報事業部

昨年7月に会報誌『きぼう』が創刊されてから3号までお届けすることができました。

これもひとえに皆様のご協力の賜物と広報事業部一同心から厚くお礼申し上げます。

これからもより充実した会報誌をお届けするために
部員一同ますます努力致したいと思います。

フレッシュな情報をお待ちしております。(中桐)



明けましておめでとうございます

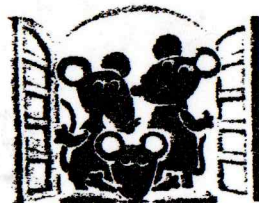
収益事業部

昨年4月より発足しました新組織のひとつ収益事業部も、始めは戸惑いの連続でしたが、会員の皆様のご協力により無事出発し始めました。

特に、手芸班におきましては月1回の手芸製作会も定着しつつあり、又会員の皆様の楽しい語らいの場ともなっています。初めの頃は係からの一方的なお願いが多かったのですが、最近では会員の方からの自発的なご意見・アイデア等も頂き、少しずつ活発さが出てきたように感じられます。又、バザーの集中する秋には皆様方には大変忙しい思いをして頂きました。販売当番におきましても快く引き受けて頂き、係として本当に有りありがたく思っております。お陰様で多くの方々とふれあうことができました。

今年は、陶芸・料理等も取り入れ、できるだけ会員の皆さんが参加しやすいスタイルにしたいと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。(小塚)



バザー売上報告《収益事業部》

| | | |
|----------|-------------|----------|
| 10/21・22 | 尾西祭り | ¥260,339 |
| 11/4・5 | 垂井バザー | ¥12,330 |
| 11/23 | 尾西福祉フェスティバル | ¥25,770 |
| 11/26 | コスモス祭り | ¥34,160 |
| 12/10 | ときわバザー | ¥28,110 |

投産振興センターのバザー

| | | |
|----------|--------|---------|
| 11/13・15 | 金山駅バザー | ¥17,793 |
|----------|--------|---------|

~~~~~ '95年末 物資販売の成果について ~~~~~

会員の皆様を中心に、ご協力をいただいた'95年末の「物資販売」の成果は、

次の通りでした。

1. 商品手渡日：平成7年12月4日（月）
2. 売上金額：¥1,014,560円
3. 収益金額：¥255,202円
4. 購入者人数：153名
5. 協力会員数：52名
6. 人気商品

ベスト3：①栗ぜんざい  
②喜多方生ラーメン  
③いかチーズサンド



ご協力をいただいた関係者の皆様、大変ありがとうございました。

2年目に入った物資販売事業は、これまでの実績から収益力はもとより、会員の協力や会員外へのPR・協力依頼等で比較的無理なく、より多くの協力が得られる点で、優れた活動事業として成長しつつあります。

今後も、年2回（夏期・年末）のペースで、内容の充実を計っていきたいと考えていますので、より多くの会員の皆様のご協力をお願いします。

## 餅つき大会に参加して I

息子が櫛の木にお世話になって7年近くになるのに勤めの都合上今までは参加したくても出来ませんでした。今年に参加することができました。

10時より餅つきが開催され、親の会の人達が搗いて、仕上がり近くになって息子達も手を借りて搗く事ができました。出来上がった餅を、きな粉、卸し大根、あんこ等にまぶしておいしく食べました。

その後、豊田合成の方たちと、綿菓子を食べたり、ゲームをして楽しいひとときを過ごしました。

最近では、餅つきは機械でついているが、私の幼い頃うすについていたから、懐かしく思い出してしまった。

## 餅つきに参加して II

今年野外で天気も良く、もちつき大会がおこなわれました。

豊田合成のボランティアの皆さんやご両親、先生方の協力ですきたてのおもちを子供達とお腹一杯おいしくいただきました。

又、子供達はゲームをしたり、わた菓子を食べたり、楽しいひとときを過ごさせていただきありがとうございました。

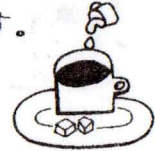


H7年12月17日、餅つき大会『よいしょー、よいしょー!』

## 陶芸教室に参加して

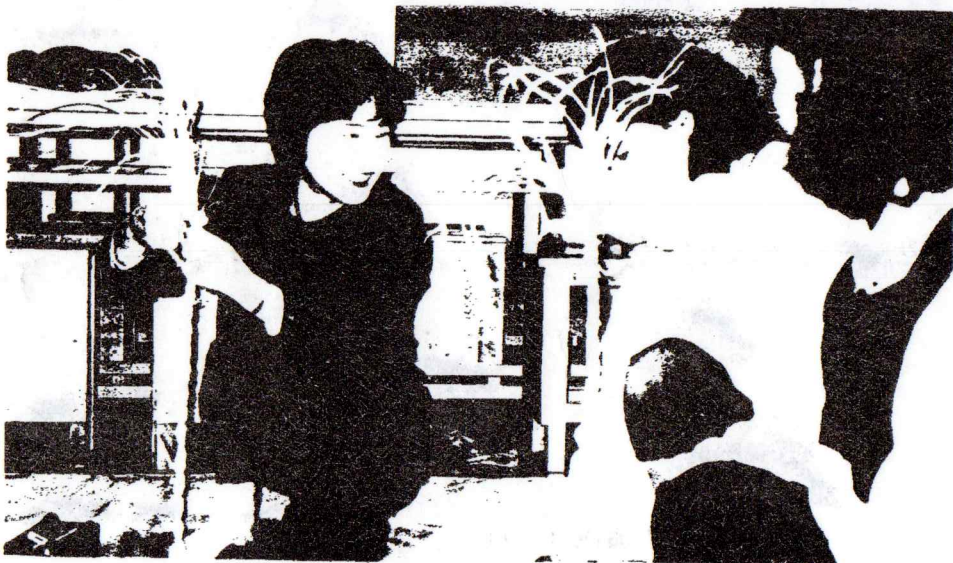


- ◎ 陶芸を始めて3年位になりますが、毎回どんな作品を作ろうかと考え参加しておりますが、出来た作品を見るのが楽しみになってきました。
- ◎ 始めのうちは不安でしたが回を重ねる毎に手先が動くようになり自分の期待している作品が出来ることを喜んでおります。
- ◎ 会員の皆さんも1度挑戦してみたいはいかがですか。
- ◎ 前回の作品の出来ばえはいかがでしょう…



## バザーの成功を祈って ①

秋も深まり今年もあとわずかとなりました。12月10日の江南市のときわ作業所バザーを開き関係者の皆様に深く感謝をしております。無器用な私が回りの方の助けを頂いて有難うございました。参加することに意義が有ることを胸に参加しました。思い思いの品物が集まり、その店に温かい心が集まったように見えました。1人1人の気持ちが集まればこんな大きな和が出来ることをうれしく思います。関係者の努力と苦勞を感謝すると共に、これからのバザーも成功することを祈りながら来年を楽しみに子供と共に頑張っていきたいと思っております。どうも有難うございました。



H7年12月12日、しめ縄作り

## 尾西祭りバザーで思ったこと ②

今年のバザーは日曜日はパレードがあるので車道に店は出せないとのことで歩道に出しました。金魚すくいの所は車道に沿って出せたので良かったのですが、マットとか靴下、お茶碗は、植え込みの後ろで店を出す形になってしまいました。ですから、道を通る人は手にとって見る事ができず、見るには歩道まで来ないと手に取ることができないので、1時間半位は全然売れませんでした。

そこで植木の上に少しマットを並べてみましたら、やはり道からすぐ手にとって見られるので、少し売れました。

隣で鮎の店を出していた方々が「自分達はもうなくなったから、こっちの方に台を持って来て並べればいい」と言って下さったので早速ならべましたら、靴下、マット、お茶碗がぼちぼち売れて行きました。

それを見ていた鮎を売っていた方々は「やっぱり場所があんなところではだめなんでしょうね。何故そんなところに店を出すのですか」と言われました。店の場所については、来年は、櫻の木の店が少し離れ離れに分かれることになっても、植え込みの後ろになるよりも車道からすぐに手にとって見える場所がいただければなあ、と思いました。



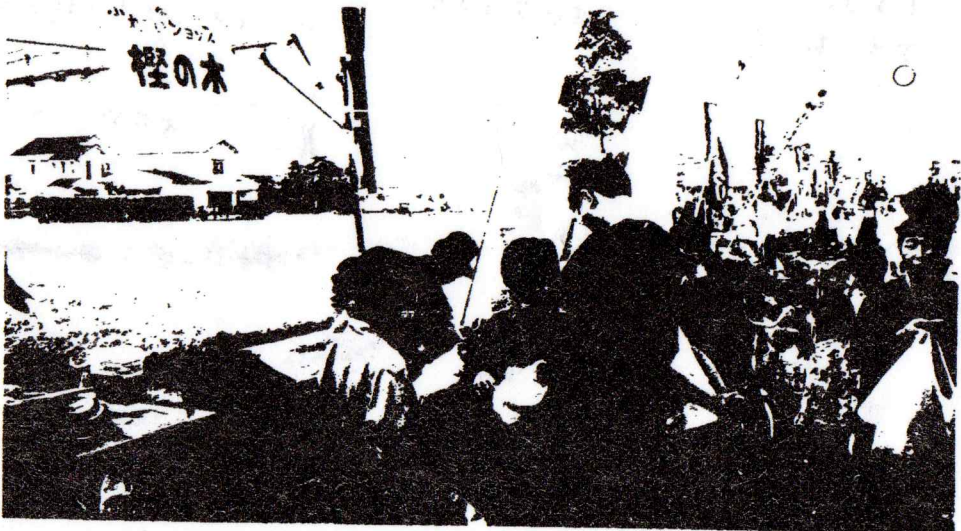
尾西祭りバザー『準備OK!』

## 初めての売り子経験 ③

10月28日、一宮スポーツ文化センターでのバザー当日までは、周囲の人から、一宮の会場では他と比較すると少々売れ行きが悪いだろうということを耳にしていました。しかしながら、今回、私にとって初めての売り子を経験させて頂くこととなり、やる限りはたくさん売れたらいいなあと祈る気持ちでバザーの日を迎えました。

バザー会場の三階の同じ部屋の中で5～6組のグループがバザーをしていました。他のグループの売れ具合を少し気にしながら頑張りました。この日は、同じ階で何かの講演会が3回あり、幸いにも、講演が終わる度にそのお客さんがバザーを見に来て下さいました。なかなか忙しい時もありました。一通りざっと見て行く人、じっくり見て行く人、上手に出来ていますねとお誉めを下さる方、また、作り方をたずねて来る方、本当にいろいろなお客様がいらっしゃいました。残念ながら私は、品物を作ることはしていませんでしたので詳しく返答ができませんでした。次の機会には、自分で作り、売るといいなあと思いました。

少し足が疲れましたが、あっと言う間の3時間でした。いつもは買う側ですが、売る側を体験できたことは、良かったと思います。お客さんは来てくれるだろうか？、売れるのだろうか？など、不安はありましたが、売り子をすることでいろいろな人と触れ合い、協力して1つのことに従事し、そしてそれが少しでも福祉のためになれば、とても素晴らしいことだと思います。



H7年10月21日、尾西祭りバザー

『この手づくり作品、よくできているネー。』



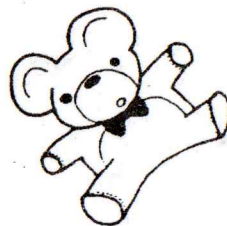
## バザーに参加して ④

去る10月28日、常に深いご理解とご支援を賜っております稲沢市の豊田合成本社において福祉のバザーが行われました。午前8時30分程の木作業所より橋本先生のハンドルでワゴン車のお世話になりながら快晴の中、当日のお手伝いの一員として参加させて頂きました。

約1時間くらいの道程で会場となるグラウンドに到着、高層ビルの立派な社屋を見上げながらテントまで案内されましたら、すっかり準備も整い私達は搬入した数々のバザーの品物をテーブルの上に広げて開店を待つだけです。回りにも、たこ焼き、みたらし団子、うどん、季節の花々、秋の味覚などの模擬店が並び賑やかです。

都合良く隣の席が、抽選場で、テーブルの上にはカラフルな景品が並べられ、その中でも最も人気が高かったのは、今シーズン好調の名古屋グランパス選手のサイン入りの色紙でして、当選するまで幾度となく、お母さん達手作りの手芸品を買い求めに足を運ばれる人も有り、お陰様で大繁盛でした。午前11時開店間近に、会社従業員の応援の方々が店の前に集合され、揃いの白いトレーナーに身を包み、小塚会長さん、橋本先生も交えて作戦会議を開き、今日1日の打ち合わせの後、掛け声も勇ましくスタッフとして我々に加わって頂き、大勢の買い物客に熱のこもった商品の紹介や販売をして頂きました。あるいは、1青年スタッフが、自発的に「今から会場へ出て売って来ます。」と元気よく小太鼓を打ち鳴らしながら広い会場を回って靴下を販売し帰って来られると、先輩のスタッフが肩をたたきながら「ようやった」と心からねぎらいの言葉をかけられた光景を思い出し胸が熱くなるのを覚え、改めて会社の皆様に感謝の気持ちで一杯です。

又、数々のほほえましいシーンも有って終始、活気溢れた中にも和やかな気分のまま無事終了、感動を覚えた最高にすてきな一日でした。いつまでも心に留め、今後の励みとさせて頂きます。ありがとうございました。



## ＝寄せられた施設見学の感想＝

昨年の9月に施設見学が取り組まれ、その感想を第2号に続きこの第3号にも紹介したいと思います。

親の会として生活施設設立を圧倒的多数で決め、いよいよ希望を現実のものにしていく実践が始まっています。生活施設での本人の暮らしぶりはどのようなものか、保護者はどのような活動をし団結しているのでしょうか、資金作りはどのように取り組んでいるのでしょうか、意見を出し合って学んでいくことが大切なこの1年となりました。会員の皆さんからの情報の紹介やご意見をお待ちしております。

本年もよろしくお願い致します。

<編集部>

## あゆみの家施設見学の感想 ①

暑かった夏も終わり晴れたり曇ったりの気候の中、久しぶりにせせらぎの音を聞きながらの弁当の味は一段とおおいしく思いました。

- ◎ 先生方の説明の内容が判り易く、我が身に受け止めました。
- ◎ 大自然の中での子供達は時間を有意義に利用してみえました。
- ◎ 小グループの活動はまとまりがありうらやましく思いました。
- ◎ 1人1人の子供さんが障害に負けず人生を送って頂くことを望み帰宅に着きました。

◎関心のある行事でしたのに参加者が少なかったのが残念でした。



H7年9月13日、施設見学前のお昼の散策のひとつ

## あゆみの家施設見学の感想 ②

9月13日水曜日。

滋賀県雁井養鱒場は、初秋の気配のする所でした。

そこでの昼食はとってもおいしく、道端の萩、自然の湧き水、池で泳ぐ魚を見ながらの散策は自然を満喫。

そこからあゆみの家へ。集会室でボーマン施設長さんの50年前の戦後から始まった「あゆみの家」が出来たまでのご苦労話をお聞きし、堀江先生、田口先生の説明があり、3班に分かれ施設見学。

私達は田口先生の先導で、始めに建てられた赤い屋根の歴史を語る様な「第1あゆみの家」から次々と見学。優しく、細かなお話や説明に、私は気がねなくその時点で質問が出来ました。タイルの壁画も素晴らしいものでした。障害者にもプライバシーがあり個室か2人部屋が望ましいとか、ドアの注意点とか他にも障害を持った方たちの立場でアドバイスして下さいました。この日私が一番感激したのは、あゆみの家の子が老人ホームでボランティアしていることでした。なんて素晴らしいことでしょう。

『榿の木へ通っている方の保護者、関係者の方へ。榿の木が出来た時、入る時の気持ちを思い出して下さい。私達は年々「歳」をとります。残される子供の為に頑張ってる人達に参加しましょう。私達が今頑張らないと夢見てる施設は出来ません。やれる事から始めませんか。』と語り合えたらとおもいます。

施設見学が出来て気持ちも新たな気分になりました。本当にありがとうございました。



### あゆみの家施設見学の感想 ③

先日は施設の見学ありがとうございました。

醒井養鱒場での、秋の一時、緑の谷間を魚と共に散策と森林浴させて頂き英気を養うことができました。

あゆみの家の感想は、

- 1 環境が抜群です
- 2 なによりも所内がとても広い 心豊かに暮らせ幸せです
- 3 保護者の熱意もすごいと先生方のお話でわかりました  
例えば月に1万円の負担金の徴収  
バザーの売上げがとても多いこと(150万×2回/年)  
これは広報等で宣伝 結婚式の引き出物等売り多収入に結び付けて行く
- 4 収容施設の建設も土地の確保や資金等问题も多くたいへんです
- 5 やはりまず小規模ホームに取り組むことが一番と思う  
地域の人達と交流しながら健常者、障害者の区別なく楽しく生活出来るのが理想です
- 6 施設が出来ても週に2～3日は家族と過ごすのが望ましいと思う
- 7 他施設の保護者との交流が出来たらお互いに良い点を学び有意義かと思えます
- 8 ボランティアの人の手助けをお願いする  
思いついたことを書きました。乱文にて失礼します。

#### 《編集後記》

会報誌第3号：新春号をここに予定通り発行することができました。これも、会員の皆様方より感想文等を頂けたからこそです。

ありがとうございました。

本年もよろしくお願い致します。 編集部